

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費
細事業名	01 港湾総務一般経費			決算書 P.294
総合計画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,114千円	1,259千円	145千円	88.4%	1,259千円
目的	久美浜港湾内の漂着ごみ等の清掃業務を港湾隣接自治会へ委託し、港湾管理及び久美浜湾環境保全業務の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府から受託した久美浜港の清掃事業及び十楽埋立地の管理(草刈り)事業を行うとともに、港湾事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○久美浜港湾清掃業務委託費(港湾隣接地区へ委託) 896千円 港湾隣接6地区：葛野、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮 ○十楽埋立地草刈業務委託(シルバー人材センターへ委託) 70千円 ○協会負担金 148千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全国海岸協会費 30千円 ・京都府海岸協会費 68千円 ・日本港湾協会費 50千円 			
主な財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業	766千円	
評価・課題等	<p>○久美浜港湾内の清掃業務について、港湾に隣接している自治会へ委託し、港湾の環境保全を図ることができた。</p> <p>○久美浜港湾におけるプレジャーボートの係留禁止区域の設定や、新たな係留施設建設など漁業者とプレジャーボート利用者が共生できるよう京都府に要請する必要がある。</p>			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.296
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,839千円	11,142千円	303千円	97.2%	10,073千円
目的	消防業務の企画調整、消防施設の管理、消防職員の士気や知識の向上、被服の貸与及び安全衛生管理を行い、24時間体制の常備消防活動を維持し運用する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。</p> <p>消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。</p> <p>※消防吏員96人(平成28年3月末日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 534千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 6,892千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任職員貸与被服等購入費(制服、活動服、救助服等) 1,909千円 ・平成28年度新規採用職員貸与被服等購入費(6人：制服等) 2,957千円 ・仮眠寝具等購入費 158千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,868千円 ○通信運搬費 1,477千円 <ul style="list-style-type: none"> ・NTT電話料金(各署所一般基本料・通話料、FAX、携帯電話基本料・通話料、郵便料金、久美浜有線放送料金等) ○肝炎ウィルス検診委託料等(H27年度新規採用3人、現任追加接種3人) 87千円 ○職員健康診断委託料 787千円 <ul style="list-style-type: none"> ・潜水業務健康診断(14人) B型・C型肝炎抗体検査(77人) ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料(77人) ○コピー機借上料、印刷機使用料、テレビ受信料等 483千円 ○全国消防長会等負担金等 401千円 ○その他事務経費等 178千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○職員の健康・安全管理を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。</p> <p>○事務用品、消耗品等の発注を本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。</p>			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	01 救急救命士養成業務			決算書	P.298
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
4,212千円		4,222千円		10千円	99.7% 4,180千円
目的	救急車内等で救命処置のできる救急救命士が常時乗車し活動するとともに、気管挿管可能な救命士を計画的に養成し、市民の安心安全な生活に寄与する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成5年度から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成27年度も1人を養成派遣するとともに、救命士処置拡大の追加講習（血糖測定及びブドウ糖溶液の投与など）に9人、指導救命士（質の担保された救急業務を維持するための指導者）に1人を派遣した。</p> <p>平成28年3月末日現在の救急救命士数は、乗車運用救急救命士21人、気管挿管救命士11人である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 871千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成派遣旅費（京都市救急教育訓練センター：1人） 560千円 ・救急救命士処置範囲の拡大に伴う追加講習旅費（9人） 184千円 ・指導救急救命士養成研修旅費（救急救命九州研修所：1人） 127千円 ○職員研修委託料 500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任救急救命士病院研修委託料（20人） 400千円 ・救急救命士資格取得後病院研修委託料（1人） 100千円 ○救急救命士養成負担金等 2,841千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成研修費（京都市派遣：1人・8月～翌年3月） 1,880千円 ・気管挿管病院実習 390千円 ・救急救命士処置範囲の拡大に伴う追加講習受講負担金等 247千円 ・指導救急救命士養成課程受講費 324千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○救急救命士による救命処置により、市民の安心安全な生活に寄与できた。</p> <p>○市民の生命を守るため救急救命士の養成は不可欠であり、今後も計画的に養成していく必要がある。また、気管挿管などの高度な救命処置を行える救急救命士の養成も必要である。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	02 消防学校等研修派遣業務			決算書	P.298
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
3,625千円		3,761千円		136千円	96.3% 4,312千円
目的	火災・救助・救急訓練及び各種研修会等に参加し、最新の知識や専門技能を習得するとともに、消防活動に必要な各種資格を取得し、複雑多様化する消防業務に対応する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防大学校、京都府立消防学校及び京都府消防長会等が主催する各研修課程並びに各種研修会に、計画的かつ積極的に参加し、消防職員としての知識・技能の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 1,486千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防大学校及び府立消防学校の入校、各種専科教育課程・研修会並びに緊急消防援助隊等各種消防救助訓練 ○消防学校専科等研修負担金 1,584千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防大学校：上級幹部科（1人）、火災調査科（1人） ・府立消防学校：初任科教育（3人・4月～11月）、火災調査科（1人）、予防査察科（1人）、危険物科（1人）、中級幹部科（1人）、特殊災害科（1人）、救急科（3人） ○各種講習会受講負担金 306千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ロープレスキュー講習（2人）・2級陸上特殊無線技士養成講習（1人） ・潜水土検定料（1人）・玉掛け技能講習（1人） ・小型移動式クレーン運転技能講習（1人）・ガス溶接技能講習（1人） ・2級小型船舶操縦士免許講習（1人）・予防技術者検定料（2人） ・酸素欠乏硫化水素危険作業主任者（1人） ○大型自動車免許取得補助金（1人） 65千円 ○その他の研修経費（バス運転委託料、有料道路通行料等） 184千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○各種の状況を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最先端の専門技能・高度な知識を学ぶことで、複雑化する災害に対応する準備ができた。</p> <p>○災害の態様も年々変化しており、それらの災害に対応する知識・技能を習得し、消防業務に対応していく必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書 P.298
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,065千円	10,274千円	209千円	97.9%	11,429千円
目的	各世帯へチラシ配布、事業所への立入検査及び高齢者宅への防火訪問を行い火災予防を図る。迅速確実な消防活動を支える資機材の整備と更新により活動時の安全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>防火啓発ポスターの募集、年末防火チラシの作成配布、露店防火指導及び防火座談会・訪問等を行い防火啓発活動に努めた。</p> <p>計画的に消火活動用資機材及び救急・救助用資機材の更新を行い、消防活動全般におけるより安全・確実な活動に配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 63千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火ポスター表彰記念品等(453人)小学校4年生対象 ○消耗品費 2,622千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者資格取得講習会テキスト購入等 ・各種広報普及推進物品、救助活動用資機材(ロープ等) ・感染防護資機材等 ○印刷製本費 241千円 <ul style="list-style-type: none"> ・秋季、春季火災予防運動啓発チラシ 計42,000枚、年末チラシ5,300枚 ・『火災予防運動防火ポスター』900枚(市内小学4年生の特選図画) ○修繕料 371千円 <ul style="list-style-type: none"> ・各種救助資機材、潜水資機材及び消防用資機材等修理 ○手数料 144千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高圧ガス容器再検査 ○原材料費 188千円 <ul style="list-style-type: none"> ・火災予防運動用工作物材料費 ○備品購入費 6,114千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防活動用資機材等(消防ホース、空気呼吸器、ガス検知器等) ・訓練用資機材(煙道) ・水難救助用資機材等(ウェットスーツ、ブーツ、ダイバーフロート等) ○その他経費(検査委託料等) 322千円 			
主な財源	手数料	消防手数料	1,109千円	
	繰入金	災害対策基金繰入金	2,800千円	
	諸収入	防火管理者資格取得講習料	278千円	
評価・課題等	<p>○各事業所等への立入検査を積極的に実施し、防火管理の推進・消防用設備の維持管理等について適切に指導した。</p> <p>○火災件数は、前年より減少したが、引き続き火災防止啓発に積極的に取り組んでいく(火災発生件数：平成27年：16件、平成26年：20件、平成25年：20件)。</p> <p>○各資機材は経年劣化による修理も多くなっており、計画的な更新整備の必要性が増している。</p>			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務												
細事業名	01 救急活動業務			決算書 P.298												
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額												
6,195千円	6,383千円	188千円	97.0%	7,281千円												
目的	資機材の適切な管理、関係機関との連携及び救急活動の検証、救マーク認定制度の運用並びに救急講習の開催により、救命救急活動への対応、充実を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>安全かつ的確な救急業務に対応するため、救急資機材の充実と知識技能の向上に努めた。また、B型肝炎等の各種感染症に関する教養啓発を図り、感染症を正しく認識させ、感染防止に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>出動救急件数</th> <th>搬送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年</td> <td>2,418件(前年比 8件)</td> <td>2,296人(前年比 41人)</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2,410件(前年比△71件)</td> <td>2,255人(前年比△128人)</td> </tr> <tr> <td>平成25年</td> <td>2,481件(前年比△55件)</td> <td>2,383人(前年比 11人)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 71千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急管外搬送 ○消耗品費 3,005千円 <ul style="list-style-type: none"> ・滅菌ガーゼ、医療用酸素、酸素マスクなど救急活動で使用する消耗品 ・除細動器用バッテリー等の耐用年限経過による交換が必要な消耗品等 ○修繕料(ストレッチャー) 25千円 ○高圧ガス容器検査手数料(医療用酸素ポンプ) 60千円 ○産業廃棄物処理手数料(救急業務で使用したガーゼ等の汚物) 55千円 ○京都救命指示センター委託料 1,567千円 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間体制で医師が1人常駐し、救急救命士の救命行為に指示 ○高度救急医療機材定期点検保守委託料 853千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除細動器、患者監視装置等の医療器材を年2回整備点検 ○備品購入費(応急手当訓練用入形) 297千円 ○丹後メディカルコントロール協議会負担金(略称：丹後MC協議会) 120千円 (救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所及び丹後広域振興局等と連携し協議会を組織) ○その他経費(消防業務賠償責任保険加入等) 142千円 				年次	出動救急件数	搬送人員	平成27年	2,418件(前年比 8件)	2,296人(前年比 41人)	平成26年	2,410件(前年比△71件)	2,255人(前年比△128人)	平成25年	2,481件(前年比△55件)	2,383人(前年比 11人)
年次	出動救急件数	搬送人員														
平成27年	2,418件(前年比 8件)	2,296人(前年比 41人)														
平成26年	2,410件(前年比△71件)	2,255人(前年比△128人)														
平成25年	2,481件(前年比△55件)	2,383人(前年比 11人)														
主な財源																
評価・課題等	<p>○関係機関との連携や救急活動の検証により、救命救急活動への対応、充実が図られた。</p> <p>○従業者らによる救急車の要請や応急手当の可能な事業所が対象の「救マーク」認定制度が普及できた。一方で、当認定の継続が困難な事業所には継続を推進する必要がある。</p> <p>○救命講習(上級講習4回、普通講習30回)及び一般救急講習(88回)を開催し、受講者数は3,000人を超え、応急手当の普及推進ができた。今後も講習会を継続し、一般救急講習受講者が更に上級の救命講習を受講し、高度な応急手当の普及を進める。</p>															
事業所管課	消防本部/総務課															

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務	
細事業名	01 通信指令業務			決算書	P.300
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
22,304千円		22,357千円		53千円	99.7% 22,598千円
目的	24時間体制で市民から火災・救急・救助等の緊急通報を受ける119番通信指令システムを適正に管理運用し、市民の安心安全な生活に寄与する。				
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>24時間体制で市民から緊急通報を受け、コンピュータ制御による発信地表示装置と地図検索装置を活用し素早く災害発生地点を特定、必要な消防車両の出動指令を行うとともに、市防災行政無線システムによる災害広報対応を行った。 119番通信指令システムに不具合が生じないよう保守点検を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 40千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用音声合成装置吹込み謝金(毎月1回) ○消耗品費 326千円 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン交換部品(冷却ファン)、プリンター交換部品等 ○修繕料 378千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アナログ無線機器等実装周波数変更、パソコン修繕等 ○通信運搬費(NTT専用回線料) 6,619千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指令回線(署所音声指令用、地図伝送用)、119番受信用回線 ○委託料 11,778千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防緊急通信指令施設保守業務委託料 9,992千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 548千円 ・聴覚言語障害者用緊急通報システム運用委託料 648千円 (聴覚言語障害者の方が携帯電話を使って「119番通報」できるシステム) ・自家用電気工作物保安管理委託料 115千円 ・無線局舎、空中線鉄塔撤去工事監理業務委託(旧アナログ設備) 475千円 ○工事請負費 1,928千円 <ul style="list-style-type: none"> ・無線局舎、空中線鉄塔撤去 ○その他経費 1,235千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ファクシミリ更新、京都府防災行政無線西山中継局電気料金等 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○機器等のメンテナンスを徹底し、市民からの緊急要請に際してシステムに支障をきたすことなく対応することができた。 ○機材の経年劣化による修繕、部品交換等は避けられないことから、計画的に機材の整備等を行い、通信指令システムの適正管理が必要である。</p>				
事業所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業	
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書	P.300
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
18,421千円		18,793千円		372千円	98.0% 20,599千円
目的	消防庁舎及び消防車両等について、適切に維持管理を行い各種災害対応に備える。特に消防車両については、整備・点検を計画的に実行し、緊急出動等に適切に対応する。				
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>消防庁舎は火災・救急・救助活動に備える拠点施設であり、職員が適切に活動できる職場環境の整備に努めた。 また、各消防車両は災害の最先端で運用する車両であり、いつ災害が発生しても万全の状態出動し、市民の安心安全な生活に寄与すること及び職員の安全確実な活動を支えるため、整備・点検を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費(トイレトーパー、蛍光管、洗剤等) 348千円 ○燃料費 4,815千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車両関係燃料(ガソリン、軽油代) 3,307千円 ・施設関係燃料(ガス、灯油代) 1,508千円 ○光熱水費(消防本部他3署所の電気料金、上下水道料金) 7,188千円 ○修繕料 3,254千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設関係修繕(エアコン、照明器具等) 437千円 ・車両関係点検・整備(18台)、車検9台、定期点検(3か月(大型のみ)、6・12か月)修理等 2,817千円 ○公用車車検経費(9台分、自動車登録手数料、自動車重量税) 498千円 ○自動車損害保険料 680千円 ○保守点検委託料(通信指令室等空調設備、キュービクル設備保安管理、374千円 消防用設備等保安管理等) ○庁舎床面清掃費(4署所分) 221千円 ○清掃用具借上料(モップ・マット等4署所分) 168千円 ○工事請負費(空調設備更新) 745千円 ○備品購入費(ガス湯沸かし器更新) 115千円 ○その他経費(ごみ持込処理手数料等) 15千円 				
主な財源	使用料	公有財産使用料			1,160千円
	諸収入	市有自動車損害共済金			493千円
評価・課題等	<p>○24時間、職員が適切に活動できるよう、消防庁舎の環境整備を整えることができた。 ○消防車両は経年劣化の目立つ車両も含め、定期的かつ計画的にメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生の際、迅速な出動、的確な活動を行うことができた。 ○消防庁舎は消防活動の拠点であることから、今後も常時適切な状態を維持管理する必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等
細事業名	01 団員報酬			決算書 P.302
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
41,067千円	41,107千円	40千円	99.9%	42,174千円

目的	市消防団条例に基づき、団員に階級ごとの報酬を支給する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	○団員報酬 41,067千円 年額(2回に分けて支給)							
	団長	189千円	指導員	50千円				
	副団長	123千円	部長	43千円				
	分団長	96千円	班長	33千円				
	副分団長	57千円	団員	19千円				
	(参考) 消防団員数内訳(平成27年度条例定数:1,805人)(単位:人)							
	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	本部(*)	14	14	12	10	10	5	6
	峰山町	361	361	359	346	346	343	339
	大宮町	283	284	281	280	280	282	277
網野町	414	411	411	387	382	375	370	
丹後町	238	234	236	226	222	223	219	
弥栄町	212	211	209	198	195	192	189	
久美浜町	239	241	242	242	242	240	240	
合計	1,761	1,756	1,750	1,689	1,677	1,660	1,640	
不足数	△44	△49	△55	△116	△128	△145	△165	
*「本部」は、団長(1人)及び女性消防団員 (各年4月1日現在)								
【参考】H28.4.1以降条例定数:1,730人								
主な財源								
評価・課題等	団員確保が年々難しくなっている状況が続いており、定数が確保できていなかったため、組織の見直しと併せて適正な定数の検討を行った。							
事業所管課	企画総務部/総務課							

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等
細事業名	02 公務災害補償費等			決算書 P.302
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
3,695千円	3,796千円	101千円	97.3%	3,796千円

目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。							
主要な事務・事業及び成果の概要	公務災害補償制度(消防団員等公務災害補償等共済基金)や住民参加の防火訓練における災害補償制度(日本消防協会)を活用し、消防団員等が火災や訓練で災害を受けた場合の損害賠償や災害補償の掛金を支出した。							
	○負担金、補助及び交付金 3,695千円							
	・消防団員等公務災害補償掛金 3,636千円							
	団員 1,805人(平成27年度条例定数)×1,900円							
	消防・水防作業 59,038人(平成22年国勢調査人口)×3.5円							
	・災害補償費掛金 59千円							
	59,038人(平成22年国勢調査人口)×1円 ※千円未満切捨て							
主な財源								
評価・課題等	消防団員等の公務災害及び防災訓練等に参加した住民の不慮の事故に対応するための災害補償掛金を支出した。							
事業所管課	企画総務部/総務課							

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金	
細事業名	01 団員退職報償金			決算書	P.302
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
44,383千円		44,383千円		0千円	100.0 % 34,656千円
目的	5年以上在職して退職した消防団員に対し、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団員の多年の労苦に報いるため、京丹後市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給した。また、その支給のため、消防団員等公務災害補償等共済基金に掛金を支払った。</p> <p>○報償費 9,727千円 ・退職報償金 (25人分)</p> <p>○負担金、補助及び交付金 34,656千円 ・消防団員退職報償金掛金 1,805人 (条例定数) ×19,200円</p>				
主な財源	諸収入	消防団員退職報償金	9,727千円		
評価・課題等	条例に基づき、退職した消防団員に退職報償金を支給した。				
事業所管課	企画総務部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業	
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書	P.302
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
106,759千円		107,366千円		607千円	99.4 % 112,137千円
目的	消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び予防活動のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出動手当のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理経費等を支出した。</p> <p>○消防団運営活動謝金 58,473千円 (本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防団員)</p> <p>○消防団員定例表彰等に係る表彰状・徽章等 204千円</p> <p>○消防団出動手当・訓練手当、職員旅費等 15,359千円</p> <p>○消耗品費 (活動服、ヘルメット、長靴、手袋の購入等) 9,331千円</p> <p>○消防車両維持管理経費 (燃料、修繕料、保険料等 88台分) 13,861千円</p> <p>○消防車庫維持管理経費 (電気代、火災保険料等 119施設分) 2,642千円</p> <p>○ポンプ自動車点検 (33台分) 220千円</p> <p>○消防学校入校、京都府消防大会参加バス借上料等 1,069千円</p> <p>○備品購入費 (消防用ホース111本、方面隊旗、分団旗の購入) 4,672千円</p> <p>○京都府消防協会京丹後市支部負担金 255千円</p> <p>○その他費用 (消火栓ボックスの処分及び消火器処分手数料等) 673千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	消防団の適切な運用や設備等の維持管理ができた。				
事業所管課	企画総務部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	04消防設備維持管理事業
細事業名	01 消防設備維持管理事業			決算書 P.304
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
17,518千円	17,518千円	0千円	100.0%	17,518千円
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、消火栓の設置数に応じて水道事業会計及び簡易水道事業特別会計へ繰り出す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○繰出金 ・水道事業会計分 5,400円×1,272基 6,869千円 ・簡易水道事業特別会計分 5,400円×1,972基 10,649千円			
	【消火栓の維持管理及び設置基数内訳】			
	区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数	
峰山町	449	7		
大宮町	300	200		
網野町	382	222		
丹後町	141	239		
弥栄町		354		
久美浜町		950		
合計	1,272	1,972		
主な財源				
評価・課題等				
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	01常備消防施設等整備事業
細事業名	01 常備消防施設等整備事業			決算書 P.304
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
31,026千円	31,217千円	191千円	99.3%	33,860千円
目的	救急自動車を更新整備し、救命処置に対応する。また、複雑多様化する災害に対応するため、24時間対応可能なヘリポート設置に向けて実施設計を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	配置後10年以上経過した救急車1台を、更新整備した。また、平成28年度実施計画の24時間対応可能なヘリポート候補地の地質調査を行った。			
	○委託料 500千円 ・ヘリポート地質調査業務委託(旧溝谷小学校)			
	○備品購入費 30,434千円 ・救急自動車(1台・竹野川分遣所配備) 18,770千円 ・救命処置用資機材(救急自動車積載) 11,664千円 ○自動車損害保険料 92千円 ・自動車登録手数料、自動車重量税等			
主な財源	国補 市債	防衛施設周辺対策事業補助金(基準額の2/3) 消防自動車整備事業債(過疎対策債)	15,434千円 14,900千円	
評価・課題等	○経年劣化した救急車を更新整備し、引き続き救命処置に対応する環境を整えることができた。 ○今後も市民の生命を守るため、計画的に消防車両を更新、整備を行い救命措置に対応する環境を維持していく必要がある。 ○平成28年度実施予定のヘリポート設置に向け、計画どおり進めることができた。			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書 P.304
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
12,543千円	15,413千円	2,870千円	81.3%	9,650千円

目的 初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し計画的に整備することにより、地域の防災力を高める。

主要な事務・事業及び成果の概要

○工事請負費・修繕料 12,543千円

【消火栓工事施工概要】 (単位：基)

区分	新設		改修		移設		合計
	地下式	地上式	地下式	地上式	地下式	地上式	
峰山	1						1
大宮			1				1
網野		2		1		1	4
丹後				14			14
弥栄			5				5
久美浜						1	1
合計	1	2	6	15	0	2	26

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,544千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■ 平成28年度への繰越事業 2,869千円
 ・消火栓設置事業 平成28年8月完成 2,869千円

主な財源	諸収入	消火栓移設補償金	301千円
	市債	消防防災施設整備事業債(合併特例債)	5,100千円
	市債	消防防災施設整備事業債(過疎対策債)	6,500千円

評価・課題等 住宅街などの消防水利が不足している地域への消火栓の新設工事に加え、老朽化した消火栓の改修工事及び道路改良工事に伴う移転工事を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業(繰越)			決算書 P.306
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,055千円	2,388千円	333千円	86.0%	2,388千円

目的 初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し計画的に整備することにより、地域の防災力を高める。

主要な事務・事業及び成果の概要

○工事請負費 2,055千円

- ・善王寺地区管渠布設工事に伴う消火栓の更新(地下式5基)
- ・府道井辺平線黒部地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新(地下式2基)
- ・国道312号栃谷地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新(地下式2基)

主な財源	市債	消防防災施設整備事業債(合併特例債)	1,900千円
------	----	--------------------	---------

評価・課題等 老朽化した消火栓の改修工事を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.304
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,085千円	4,085千円	0千円	100.0%	4,500千円
目的	新設の消火栓箇所への消火栓備品の設置及び老朽化に伴う消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	消火栓は、初期消火に有効な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓備品の配備が必要である。そのため、区からの要望等を踏まえ、新設の消火栓箇所への消火栓備品の設置及び老朽化に伴う消火栓備品を更新を行った。			
	○備品購入費		4,085千円	
	【消火栓備品】			
	品名	数量		
	屋外型ホース格納箱（スチール製）	69台		
	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	69台		
	消火栓用ホース	293本		
	管そう（ノズルは噴霧タイプでない）	17本		
	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	5本		
	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	5本		
	単口式スタンドタイプ（地下式用）	6本		
主な財源				
評価・課題等	消火栓の新設箇所や老朽化した消火栓ボックス等の資機材の整備を行い、地域の防災力を高めることができた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	50消防施設一般経費
細事業名	01 消防施設一般経費			決算書 P.306
総合計画	計画項目 12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,082千円	4,126千円	44千円	98.9%	2,350千円
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○需用費 1,043千円			
	・小西川可動堰電気料			61千円
	・消防車庫修繕（11か所）			745千円
	・防火水槽修繕			216千円
	・防火水槽表示看板修繕			16千円
	・固定止水栓（網野市民局消防車庫水道メータ交換）			5千円
	○役務費 19千円			
	・消防無線（旧アナログ）アンテナ撤去手数料			
	○使用料及び賃借料 200千円			
	・簡易デジタル無線電波利用料			
○工事請負費 2,820千円				
・モーターサイレン塔撤去工事（6か所）			1,689千円	
・防火水槽漏水補修工事（網野町掛津）			929千円	
・吉原グラウンド照明設備撤去工事			202千円	
主な財源				
評価・課題等	消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を適切に行った。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.306
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
37,476千円		37,883千円		407千円 98.9% 33,875千円

目的	防災行政無線施設及び設備について、保守点検、修繕等により維持管理し、災害時に迅速かつ的確な情報を市民に周知できるようにする。						
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	京丹後市同報系防災行政無線の日常的な保守点検と維持管理及び故障機器の修繕対応を行った。						
	○職員出張経費(旅費・有料道路通行料)	18千円					
	○戸別受信機用アンテナ、消耗品等	475千円					
	○防災行政無線屋外拡声子局等電気代・燃料代	3,223千円					
	○防災行政無線施設修繕料	2,964千円					
	・簡易中継局(小桑・栃谷)						
	・屋外子局(善王寺、網野町郷・浅茂川保育所・網野駅、尾和、須川)						
	○防災行政無線(同報系)地区遠隔制御装置回線使用料等 (消防本部、福祉事務所を含む各庁舎間を結ぶ遠隔制御装置等)	3,132千円					
	○防災行政無線設備火災保険料	41千円					
	○西山通信施設周辺草刈委託料	80千円					
○防災行政無線設備保守点検委託料	21,348千円						
○戸別受信機設置等委託料	2,213千円						
○防災行政無線峰山町システム改修委託料	643千円						
○防災行政無線敷地借上料(丹後町2か所 1,562㎡)	16千円						
○電波利用料(同報系)	414千円						
○防災行政無線等操作線関電柱共架料(網野町)	3千円						
○網野町防災行政無線小浜母子センター拡声子局移設工事	2,808千円						
○西山通信施設電気代負担金(京都府施設借用分)	98千円						
※戸別受信機設置台数(H28.3.31現在)	(単位:台)						
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
	4,925	3,024	4,518	2,237	1,820	3,311	19,835
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金					20,000千円
	諸収入	防災行政無線子局移設補償金					2,067千円
評価・課題等	○定期的な保守点検や修繕等を行い、適正な維持管理に努めることで、有事の際に迅速かつ的確な情報を市民に周知できるように努めた。 ○アナログ式である峰山町及び網野町内の無線設備のデジタル化を検討する必要がある。						
事業所管課	企画総務部/総務課						

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	05災害支援対策経費
細事業名	01 災害支援対策経費			決算書 P.306
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
250千円		255千円		5千円 98.0% 0千円

目的	東日本大震災被災地の復興に向け、被災地への災害支援を実施する。							
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	災害支援活動のための職員派遣に要する経費を執行した。							
	○職員出張旅費	244千円						
	・職員派遣旅費・移転料(陸前高田市役所1人派遣)	158千円						
	・東日本大震災追悼式出席旅費(陸前高田市:H28.3.11)	86千円						
	○使用料及び賃借料	6千円						
	・有料道路及び駐車場使用料(東日本大震災追悼式)							
	主な財源							
	評価・課題等	被災地への災害支援により、被災地の復興に寄与することができた。						
	事業所管課	企画総務部/総務課						

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費			決算書 P.308
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
11,905千円	12,816千円	911千円	92.8%	10,787千円
目的	備蓄物資の購入や各種防災用機器の維持管理を行い、災害に備える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害時に備えた備蓄物資の購入、各種防災用機器の維持管理に要する経費のほか、避難所見直しに伴う新避難所看板作成や自主防災組織育成の補助金など、災害対策に係る経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員人件費（災害本部設置による時間外・休日勤務手当等） 2,212千円 <ul style="list-style-type: none"> ・台風（6号、11号、15号、18号）、大雪（1/18）、 その他（農業散布事案対応：4/28） ○職員出張経費（旅費・有料道路通行料） 226千円 ○災害対策用備蓄物資及びその他消耗品購入等 5,351千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米16,000食、水14,008本、毛布200枚、 間仕切り30セット、仮設ルーム1個、カラーコーン、雨量計用紙等 ○五箇小学校起震車体験に係る経費（起震車燃料等） 2千円 ○避難所見直しに伴う新避難所看板作成料等 616千円 ○電気・電話代等（箱石防災備蓄倉庫、冠水警報通報装置） 183千円 ○災害本部会議テレビ電話サービス使用料 76千円 ○手数料・保険料等（クリーニング、廃油処理等） 153千円 ○箱石防災備蓄倉庫消防設備保守点検費用 169千円 ○雨量観測装置、冠水通報装置保守管理料 136千円 ○京都府防災情報システム保守業務委託料 207千円 ○土地借上料、アマチュア無線局電波利用料 10千円 ○災害対策土のう用山土等原材料費 59千円 ○京都府防災情報システムFAX購入費（8台） 1,185千円 ○自主防災組織資機材購入補助金（35団体） 1,261千円 ○負担金（府水難救済会負担金、丹後広域危険物安全協会負担金等） 59千円 			
主な財源	繰入金	災害対策基金繰入金	2,100千円	
	諸収入	陸前高田市職員派遣交付金	736千円	
評価・課題等	<p>地域にぎわい創り推進員と協力して自主防災組織の設立推進に取り組み、組織数の増加につながったが、引き続き未設置の地区での設立推進に取り組んでいく必要がある（H27年度末時点：150地区140組織）。</p>			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	9消防費	1消防費	4災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費（繰越）			決算書 P.308
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
799千円	2,500千円	1,701千円	31.9%	2,500千円
目的	平成26年度に見直しを行った京丹後市地域防災計画全編の印刷製本を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○印刷製本費 799千円</p> <p>京丹後市地域防災計画（バインダー式）200冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編（一般計画編、震災対策計画編、原子力災害対策編） ・資料編 ・原子力災害住民避難計画 			
主な財源				
評価・課題等	<p>京丹後市地域防災計画を関係機関及び関係部署で共有することで、防災体制の強化を図ることができた。</p>			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	01教育委員会費	50教育委員会一般経費
細事業名	01 教育委員会一般経費			決算書 P.310
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,261千円	4,331千円	70千円	98.3%	4,431千円
目的	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>教育委員（委員長1人、委員3人）の報酬、会議参集や研修の費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会6回と協議会4回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校等視察等の活動も行った。</p> <p>○報酬 3,792千円 ・教育委員4人の報酬</p> <p>○旅費等 111千円 ・近畿、府内教育委員研修大会参加に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費（10月14日、清明高等学校、樟葉小学校） ※視察テーマ：「単位制による定時制課程（昼間2部制）の取組」 「小中一貫教育と英語教育の取組～新しい学びと学びの輪～」 ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・有料道路使用料、駐車場使用料</p> <p>○負担金 358千円 ・丹後地方教育委員会連合会負担金</p>			
主な財源				
評価・課題等	定例会、臨時会のほか、研修会への参加また管内・管外の視察を実施するなど、幅広い識見を得るための積極的な活動を行うことができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業
細事業名	01 指導主事設置事業			決算書 P.310
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,809千円	9,822千円	13千円	99.8%	9,969千円
目的	指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>4人の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <p>○報酬 7,992千円 ・指導主事報酬（166,500円×4人×12か月）</p> <p>○共済費 1,252千円 ・社会保険料、雇用保険料</p> <p>○旅費 558千円 ・費用弁償</p> <p>○需用費 7千円 ・消耗品費（参考図書）</p>			
主な財源				
評価・課題等	学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	04学校医委嘱事業																											
細事業名	01 学校医委嘱事業			決算書 P.312																											
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実																													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																											
25,573千円	25,722千円	149千円	99.4 %	25,846千円																											
目的	学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康及び教育現場の環境衛生の保持増進を図る。																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○報酬 25,554千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師報酬 <table border="1"> <tr><td>幼稚園</td><td>6人</td><td>944千円</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>20人</td><td>7,106千円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>6人</td><td>2,972千円</td></tr> </table> ・歯科医報酬 <table border="1"> <tr><td>幼稚園</td><td>6人</td><td>944千円</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>20人</td><td>7,105千円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>6人</td><td>2,972千円</td></tr> </table> ・薬剤師報酬 <table border="1"> <tr><td>幼稚園</td><td>6人</td><td>616千円</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>20人</td><td>2,341千円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>6人</td><td>554千円</td></tr> </table> <p>○旅費 19千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 				幼稚園	6人	944千円	小学校	20人	7,106千円	中学校	6人	2,972千円	幼稚園	6人	944千円	小学校	20人	7,105千円	中学校	6人	2,972千円	幼稚園	6人	616千円	小学校	20人	2,341千円	中学校	6人	554千円
幼稚園	6人	944千円																													
小学校	20人	7,106千円																													
中学校	6人	2,972千円																													
幼稚園	6人	944千円																													
小学校	20人	7,105千円																													
中学校	6人	2,972千円																													
幼稚園	6人	616千円																													
小学校	20人	2,341千円																													
中学校	6人	554千円																													
主な財源																															
評価・課題等	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康及び教育現場の環境衛生の保持増進を図ることができた。																														
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																														

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	05学務経費
細事業名	01 学務経費			決算書 P.312
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,350千円	6,605千円	255千円	96.1 %	6,605千円
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○学齢簿の管理（学齢簿関連システム保守・改修委託料） 540千円</p> <p>○小中学校音楽フェスティバルの開催 287千円 （消耗品費、印刷製本費、医薬材料費、手数料、会場借上料） 開催日：平成27年11月21日 場所：京都府丹後文化会館 参加校：小学校5校（五箇小、大宮南小、網野南小、間人小、高龍小） 中学校2校（網野中、久美浜中）</p> <p>○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） 39千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校ふれあい交流会（各中学校区で実施） 小学校及び中学校が集まって交流 実施中学校区：全中学校区 ・中学校ふれあい交流会（市全体で実施） 体育交流会 開催日：平成27年6月17日 場所：弥栄中学校 文化交流会 開催日：平成27年11月11日 場所：大宮中学校 参加校：全中学校 <p>○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償） 814千円</p> <p>○負担金 4,479千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ振興センター負担金 4,287千円 ・京都府学校保健会負担金、京都府学校保健主事会負担金 71千円 ・京都府特別支援教育研究協議会 10千円 ・教育研究事業負担金 111千円 <p>○人権教育研究会（消耗品費、印刷製本費） 96千円</p> <p>○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料） 95千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健康・安全な教育環境の推進につながった。 ○小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級に在籍する児童生徒の学校間交流を通じて、社会性や豊かな人間性の育成を支援することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	06学校安全対策事業
細事業名	01 学校安全対策事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,545千円	5,331千円	786千円	85.2%	5,391千円
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理 各学校・幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。 ・維持管理費及び運行経費 燃料費（ガソリン代） 923千円 消耗品費・修繕料（車検、点検時等の車両消耗品、修繕） 809千円 手数料・保険料・公課費（車検手数料、自動車重量税ほか） 1,050千円 配車一覧			
	1 峰山小、丹波小	8 吉原小	15 峰山中、新山小	
	2 大宮第一小、大宮中	9 網野南小	16 大宮南小、大宮幼	
	3 網野北小、網野中	10 橘小	17 島津小、網野幼	
	4 丹後中	11 宇川小	18 豊栄小、丹後幼	
	5 五箇小	12 弥栄小、弥栄幼	19 間人小	
	6 高龍小	13 久美浜小、久美浜中	20 かぶと山小、かぶと山幼	
	7 教育委員会事務局	14 吉野小、弥栄中	21 長岡小、峰山幼	
	○スクールガード・リーダー巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 年間巡回活動等の実績：66回×5人＝330回 報償金・保険料（活動謝金、総合補償保険料） 1,758千円			
	○学校の除雪活動 積雪時の登校上の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。 保険料（ボランティア活動保険） 5千円			
主な財源	府補 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3）			1,171千円
評価・課題等	○各幼稚園・小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、園児、児童、生徒の安全につながっている。 ○子ども安心パトロール車（にこにこカー）やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、更に安全体制の強化を図っていくことが必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業	
細事業名	01 学校情報化推進事業			決算書 P.314	
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
9,589千円	9,610千円	21千円	99.7%	10,944千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワーク機器の整備及び維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と利用価値の高い学校情報化の環境を構築する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともにウイルス対策を行った。 ○需用費 2,384千円 ・パソコン・校内LAN関連消耗品 35千円 ・パソコン・校内LAN関連修繕費（57件） 2,349千円 ○委託料 4,241千円 ・パソコン・校内LAN保守委託料（スポット保守委託 2件） 467千円 ・学校グループウェア活用研修委託料 65千円 ・サーバーシステム保守委託料 3,563千円 グループウェア・ネットワーク管理 各種サーバーシステム保守及び設定 ・パソコン整備委託料（教職員の異動に伴うパソコン設定作業） 146千円 ○使用料及び賃借料 1,979千円 ・パソコン借上料 327千円 校務用パソコン借上料（46台）、サーバーシステム借上料（1台） ・ソフトウェア使用料 1,652千円 ウイルス対策ソフト（1,800台分） ○備品購入費 985千円 ・ネットワーク機器購入 スイッチングハブ（8台）、ファイアウォール（1台）				
	主な財源				
	評価・課題等	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン（校務、普通教室、情報教室）及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○学校のICT環境水準の維持・向上を図るためには、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。			
	事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業
細事業名	01 学校再配置推進事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,013千円	4,205千円	192千円	95.4%	4,979千円
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを行ってきた。また、開・閉校式の実施、閉校後の施設の利活用を検討するとともに、閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。</p> <p>平成27年度開校 網野中 平成27年度閉校 吉原小、五箇小</p> <p>○式典関連経費 239千円 ・需用費（式典用装飾花、看板等） 238千円 ・役務費（白布等クリーニング手数料） 1千円</p> <p>○開校準備経費 3,104千円 ・報償費（校章・校歌作成記念品等） 56千円 ・需用費（掲出用校旗、校名板修繕等） 125千円 ・委託料（設計委託料、校章等更新業務委託料、情報通信機器等移設委託料等） 1,410千円 ・備品購入費（式典用校旗、ステージ文字幕、部活動用ユニフォームほか） 1,513千円</p> <p>○閉校記念誌補助金（五箇小） 670千円</p>			
主な財源	府補	未来づくり交付金（学校再配置推進事業）	1,933千円	
評価・課題等	<p>○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。</p> <p>○学校再配置基本計画の前期が終了し、学校再配置は着実に進んでいる。</p> <p>○引き続き、学校再配置基本計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09教科用図書採択事業
細事業名	01 教科用図書採択事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
120千円	163千円	43千円	73.6%	163千円
目的	市立中学校で使用する教科用図書（使用期間は原則4年間）の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成28年度から使用する中学校の教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うため、平成27年度に丹後教科用図書採択地区協議会が発足し、文部科学省の教科書目録に掲載された教科用図書を調査・研究した。</p> <p>○負担金、補助及び交付金（丹後教科用図書採択地区協議会分担金） 120千円 ・構成団体（2市2町1組合） 京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町教育委員会 与謝野町宮津市中学校組合教育委員会 ・委員（20人） 教育委員会教育長 4人 教育委員会委員 16人</p>			
主な財源				
評価・課題等	丹後教科用図書採択地区協議会からの選定結果に沿って、平成28年度から市立中学校で使用する教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うことができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業
細事業名	01 就学支援・教育相談事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,160千円	2,163千円	3千円	99.8%	2,163千円
目的	児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送れるように支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○教育相談委託料 1,920千円</p> <p>各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会場 大宮庁舎内会議室 ・実施回数 毎月2回（80,000円×月2回×12か月） ・相談件数 81件（延べ件数） ・教育相談担当者研修（年3回）、心の教室相談員研修（年3回） ・事例研修（4グループ（1グループ5人））各グループ年5回実施 <p>○就学指導に係る発達検査記録用紙セット等 240千円</p> <p>絵画語り発達検査記録用紙、知能検査換算アシスタント</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○学校教育に精通した臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施することで、児童生徒の問題行動の防止や不登校等の解消につながった。</p> <p>○教員が心理発達アセスメントの実施や分析を行い、教育相談や就学指導に活用するためには、研修等を通じて専門性をより高める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業
細事業名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,710千円	7,868千円	158千円	97.9%	9,057千円
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活復帰と社会的自立を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「まわら」の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。</p> <p>教育支援センター運営経費</p> <p>配置人数 5人 教育支援センター指導員</p> <p>配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 1人 ②週3日 1日7時間 4人</p> <p>通所者 7人</p> <p>相談延べ件数 927件</p> <p>来所延べ人数 1,828人</p> <p>○共済費（労災保険料、雇用保険料） 128千円</p> <p>○臨時職員賃金（指導員） 6,716千円</p> <p>○旅費（研修会出席） 27千円</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、公用車修繕料） 254千円</p> <p>○役務費（電話代、切手代、自動車損害保険料） 50千円</p> <p>○教育相談委託料 509千円</p> <p>相談延べ件数 30件</p> <p>○バス運転委託料（野外体験学習） 24千円</p> <p>○コピー機借上料 2千円</p>			
主な財源	府委	いじめ対策等生徒指導推進事業費委託金（10/10）	300千円	
評価・課題等	<p>○専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。</p> <p>○教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12小中一貫教育推進事業
細事業名	01 小中一貫教育推進事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,071千円	1,107千円	36千円	96.7%	1,047千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向けた調査研究を行うとともに、「小中一貫教育モデルカリキュラム」を作成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行い、「学校教育指導の重点ダイジェスト版」、「丹後学モデルカリキュラム」及び「保幼小モデルプラン」を作成し、各学校等へ配布した。</p> <p>平成28年度の全中学校区での小中一貫教育実施に向け、小中一貫教育実施校及び導入準備校を指定し、教育活動の実践、検証、評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償、視察旅費ほか） 535千円 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員） ・協議会の開催 3回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 小中一貫教育導入準備校等における実施に向けての調査研究 ○学校教育連携専門部会（印刷製本費） 326千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会 学校運営部員 6人 カリキュラム作成部員 8人 ・開催回数 学校運営部会 3回 カリキュラム作成部会 15回 丹後学（小学校6回、中学校5回） 保幼小接続（4回） ○教育フォーラムの開催（講師謝金） 72千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育フォーラム（参加者：120人） 開催日：平成28年1月9日（土） 場所：峰山中学校 ○小中一貫教育導入準備校（消耗品費） 138千円 <ul style="list-style-type: none"> ・導入準備校 3校（丹後中・弥栄中・久美浜中学校区） <p>※小中一貫教育実施校（峰山中・大宮中・網野中）に係る経費は中学校教育振興事業等により支出</p> 			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	500千円	
評価・課題等	<p>○小中一貫教育実施校による先行的な実践研究と検証を積み重ねるとともに、導入準備校では、実施校を先行モデルとして小中一貫教育を実施する基盤を整えた。</p> <p>○平成28年度からは小中一貫教育が市全域での実施となるため、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備推進を着実にしていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13教育のまちづくり推進事業
細事業名	01 学校支援地域本部事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,037千円	5,103千円	66千円	98.7%	5,328千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を進め、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日 ○実施地域 市内全ての小学校（20校）・中学校（6校）・幼稚園（6園） ○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館） ○ボランティア登録者数 512人（平成27年度新規登録者数42人） ○広報誌の発行（2回） ボランティア募集・活動報告 ○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> <活動内容> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <活動実績> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 802日／2,534人 ・大宮中学校区 80日／190人 ・網野中学校区 593日／4,367人 ・丹後中学校区 542日／3,047人 ・弥栄中学校区 370日／675人 ・久美浜中学校区 268日／1,339人 ○謝金 4,159千円 ○旅費 417千円 ○消耗品・印刷製本費 451千円 ○使用料（有料道路通行料） 10千円 			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3）	3,088千円	
評価・課題等	<p>○学校支援ボランティアとしてさまざまな学校支援活動を行うことで、地域で学校教育を支援する連携体制の構築を図ることができた。</p> <p>○地域住民の経験や特技を活かす場として、学校の教育活動等に参加することで、市民が児童・生徒との交流ができ、生きがいを実感する場となっている。</p> <p>○学校での活動内容が多様化していることから、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13教育のまちづくり推進事業
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
1,458千円		1,504千円	46千円	96.9% 2,864千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室（運営協力謝金） 72千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後と月1回土曜日に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、黒部区、佐野甲区 中学生放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 602千円 <ul style="list-style-type: none"> 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。 実施校：網野中、丹後中 土曜日を活用した教育活動（講師謝金、消耗品費、印刷製本費ほか） 770千円 <ul style="list-style-type: none"> 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。また、啓発用リーフレットを作成し保護者等に配布した。 <p>○情報メディアの活用研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援番組による支援（消耗品費） 14千円 <ul style="list-style-type: none"> 市ケーブルテレビ放送を活用し、高校受験対策番組「数学基礎講座」を放映するとともに、番組に応じたテキストを作成し中学3年生に配付した。また、DVD教材として各中学校・市立図書館で貸し出しを行った。 高校受験数学基礎講座：全9回（各30分） 放送期間：平成27年12月7日～12月30日 			
主な財源	国補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）	400千円	
	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費（10/10）	122千円	
評価・課題等	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で継続実施するとともに、第二土曜日に各学校の創意工夫を凝らした教育活動を実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13教育のまちづくり推進事業
細事業名	03 授業実践力向上対策事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
409千円		472千円	63千円	86.6% 472千円
目的	新・授業実践力開発講座、小中一貫出前講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び出前講座を実施した。また、小中学校教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業への実践力を身に付けるため、教育実践力サポート講座を実施した。</p> <p>○新・授業実践力（学級経営力向上）開発講座（講師謝金ほか） 257千円</p> <p>経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施した。また、市外先進校を視察し、学習指導や学級経営の在り方について研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 開催回数 全7回（うち1回が市外先進校視察） 参加者 15人（うち小学校11人、中学校4人） <p>○授業実践力小中一貫出前講座（講師謝金） 30千円</p> <p>授業力の検証に資する講座として実施した。授業構想、実践と評価などについて、講師の指導助言も得ながら、研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 開催回数 1回 参加者 11人（うち小学校8人、中学校3人） <p>○教育実践力サポート講座（講師謝金ほか） 122千円</p> <p>各講座において、専門性の高い講師による指導により参加者の実践力を高め、講座での学びを勤務校において広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施教科 音楽（5回）、図工（5回）、体育（5回）、道徳（2回） 参加者 延べ24人（うち小学校24人、中学校0人） 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級運営など、授業実践力等の向上に資することができた。</p> <p>○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、教員の義務教育9年間を見通した指導力の向上に資することができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14いじめ防止推進事業
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
277千円	305千円	28千円	90.8%	335千円
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 60千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止講演会講師謝金 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年11月30日(月) 会場：アグリセンター大宮 講師：立命館大学 野田正人教授 参加者数：105人 ○需用費 90千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 85千円 <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止講演会チラシ(21,000枚) いじめ防止啓発グッズ(PRカード 児童用500枚) ・修繕費(懸垂幕の修繕) 5千円 ○役務費 27千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ相談専用フリーダイヤル設置費用、通話料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事 ※いじめ相談件数：0件 ○委託料 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットモラル研修会講師派遣委託料 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年8月24日(月) 会場：大宮庁舎 講師：NTT情報技術推進ネットワーク(株)代表取締役 篠原 嘉一氏 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る取組が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14いじめ防止推進事業
細事業名	02 いじめ防止対策等運営事業			決算書 P.316
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
278千円	392千円	114千円	70.9%	362千円
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ問題対策連絡会議経費 15千円 <ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：平成27年5月26日(火) 委員数：21人 会場：京丹後市役所峰山庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費(委員謝金) 12千円 ・旅費(旅費、費用弁償) 3千円 ○いじめ防止対策等専門委員会経費 263千円 <ul style="list-style-type: none"> いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。 開催日：第1回 平成27年10月3日(土) 委員数：5人 第2回 平成28年2月13日(土) 会場：京丹後市役所大宮庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 98千円 ・旅費(費用弁償) 61千円 ・消耗品費 104千円 			
主な財源	国補	教育支援体制整備事業費補助金(1/3)	87千円	
評価・課題等	<p>○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。</p> <p>○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見の観点が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15学校跡施設管理事業
細事業名	01 学校跡施設管理事業			決算書 P.318
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
121,795千円	121,799千円	4千円	99.9%	128,630千円
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の適切な維持管理を行う。また、旧佐濃小学校の校舎解体撤去工事を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○閉校施設等修繕料（12施設） 1,509 千円 旧大宮第三小・旧三津小・旧郷小・旧橋小・旧竹野小・旧黒部小 旧野間小・旧川上小・旧海部小・旧田村小・旧湊小・旧宇川中 ○各種手数料 116 千円 ごみ持込手数料、廃家電処理手数料 ○委託料 73 千円 雑木伐採委託料 ○工事請負費 119,969 千円 旧佐濃小学校校舎解体撤去等工事 116,964 千円 上野用水路改修工事（旧宇川中学校） 1,534 千円 旧田村小学校ランチルーム屋根防水改修工事 702 千円 旧宇川中学校污水管及び汚水柵取替工事 400 千円 学校跡施設危険遊具撤去工事（4校、7施設） 369 千円 ○学校教育施設整備基金積立金 128 千円 旧大宮第三小学校分 （平成27年度建物賃貸借料相当額 256,317円の1/2を積立） 			
主な財源	市債 旧小学校施設解体事業債（合併特例債）			111,100千円
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○学校跡施設の管理を適切に行うとともに、旧佐濃小学校校舎の解体撤去工事を適切に行った。 ○閉校施設の利活用について、地元での検討、公募などを進めるとともに、内部の情報共有も図りながら施設利用につながる取組を進めていく必要がある。 			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	50事務局一般経費
細事業名	01 事務局一般経費			決算書 P.318
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
8,148千円	8,587千円	439千円	94.8%	7,290千円
目的	教育委員会事務局の円滑な運営を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会事務局の運営に要する経費、所属する協議会への負担金等を支出した。 ○臨時職員経費 3,045千円 ・臨時職員 2人 ○報償費 40千円 ・教育委員会活動点検評価謝金 2人 ○旅費等 425千円 ・近畿都市教育長協議会、京都府都市教育長協議会等 有料道路通行料 ○教育委員会交際費 526千円 ・教育委員会交際費、激励金 ○委託料 2,049千円 ・事務補助業務人材派遣委託料 ○教育委員会維持管理経費（消耗品費、使用料等） 445千円 ○公用車の維持管理及び修理代 1,420千円 ○各協議会、団体への負担金及び補助金 198千円 （近畿都市教育長協議会負担金、京都府都市教育長協議会参加負担金 定時制通信教育振興会負担金、京都暁星高等学校私学助成金 等） 			
主な財源				
評価・課題等	教育委員会事務局の運営について、円滑な事務執行ができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金給付等事業
細事業名	01 奨学金給付等事業			決算書 P.320
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
16,842千円	16,847千円	5千円	99.9%	13,831千円
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金を給付し就学を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	経済的に困窮している世帯の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。			
	○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償 57千円 ・報酬 52千円 委員 4,000円(半日)×7人×1回 委員 4,000円(半日)×6人×1回 ・費用弁償 5千円 ○奨学金給付金 16,785千円 ・高校生 4,225千円 月額 5,000円×12月×69人 月額 5,000円×8月×1人(退学によるもの) 月額 5,000円×9月×1人(他給付金の受給決定によるもの) (高等学校71人) ・大学生 12,560千円 月額 10,000円×12月×104人 月額 10,000円×8月×1人(退学によるもの) (大学72人、大学院5人、短期大学4人、専門学校23人、専修学校1人)			
主な財源	諸収入	奨学基金繰入金	16,785千円	
評価・課題等	厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	02奨学基金	
細事業名	01 奨学基金			決算書 P.320	
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
2,460千円	2,460千円	0千円	100.0%	691千円	
目的	経済的理由により高等学校、大学等への修学が困難な者に対し奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金				
主要な事務・事業及び成果の概要	○奨学基金積立金 2,399千円 (旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分等)				
	○奨学基金積立金(利子分) 61千円 (参考)基金の状況 (単位:千円)				
	平成26年度末 現在高 ①	平成27年度中増減額			平成27年度末 現在高 ①-②+(③+④)
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
	183,459	16,785	61	2,399	169,134
	(充当:1事業) ・奨学金給付等事業 16,785千円				
主な財源	財産収入	奨学基金利子収入	61千円		
	諸収入	奨学資金貸付償還金	678千円		
	諸収入	奨学資金貸付償還金滞納繰越分	1,721千円		
評価・課題等					
事業所管課	財務部/財政課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	03谷口謙・未来応援基金
細事業名	01 谷口謙・未来応援基金			決算書 P.320
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
100,000千円	100,000千円	0千円	100.0%	0千円

目的 谷口謙氏からの寄附金を活用し、経済的な理由で就学が困難な学生を支援することを目的に設置した「谷口謙・未来応援基金」への積立金。

主要な事務・事業及び成果の概要

○谷口謙・未来応援基金 100,000千円

(参考) 基金の状況 (単位:千円)

平成26年度末 現在高 ①	平成27年度中増減額			平成27年度末 現在高 ①-②+(③+④)
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
			100,000	100,000

※創設年月日：平成27年11月27日

主な財源 寄附金 ふるさと応援寄附金 100,000千円

評価・課題等

事業所管課 教育委員会事務局/教育総務課

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業
細事業名	01 外国語指導助手招致事業			決算書 P.320
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
26,503千円	27,069千円	566千円	97.9%	28,711千円

目的 外国青年を外国語指導助手(ALT)として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、6人の外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。

- 報酬等 24,396千円
 - ・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料
 - ・外国語指導助手支援員の謝金、賃金等
- 旅費等 735千円
 - ・研修旅費及び帰国旅費(3人分)等
 - ・有料道路通行料
- 住居に要する費用等 296千円
 - ・借家更新料、廃家電処理手数料等
- 負担金 1,076千円
 - ・来日直後オリエンテーション参加費用負担金、自治体国際化協会負担金、JET来日渡航費用負担金

主な財源

評価・課題等 外国語指導助手を各町に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。

事業所管課 教育委員会事務局/教育総務課

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業	
細事業名	01 小学校管理運営事業			決算書	P.322
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
146,545千円	148,533千円	1,988千円	98.6 %	155,490千円	
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 108,694千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 32,774千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、通知簿印刷ほか） 795千円 ・電気代 50,940千円 ・水道料 23,229千円 ・修繕費（カーテン、畳等の修繕） 956千円 ○役務費 5,407千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 3,702千円 ・手数料（ピアノ調律、ミシン調整、ごみ処理ほか）、保険料 1,705千円 ○委託料 25,051千円 <ul style="list-style-type: none"> ・プール水質検査委託料 238千円 ・作業員業務人材派遣委託料（12校、12人） 24,813千円 ○使用料及び賃借料 1,894千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 299千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 1,595千円 ○備品購入費 4,870千円 <ul style="list-style-type: none"> ・書架、ストーブ、保健器具、掃除機ほか ○負担金、補助及び交付金 629千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○教育環境の整備や維持管理など、安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業	
細事業名	02 小学校事務補助経費			決算書	P.322
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,651千円	1,814千円	163千円	91.0 %	1,814千円	
目的	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>複数配置校</p> <p>大宮第一小学校 事務補助（1人） （1日7時間・週4日勤務）</p> <p>島津小学校 学校図書館支援加配（兼務） （1日7時間・週1日勤務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員賃金 1,449千円 ○共済費（社会保険料、労災保険料） 202千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校図書館支援加配を兼務することにより、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細事業名	01 小学校施設改修事業			決算書 P.324
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
66,793千円	66,811千円	18千円	99.9%	67,367千円

目的	老朽化している学校施設が多い中、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、市内小学校施設の改修工事等を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>網野北小学校屋内消火栓配管改修工事、網野北小学校大体育館天井補修工事、島津小学校下水道接続及び浄化槽撤去工事等、各小学校の改修工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役務費 43千円 <ul style="list-style-type: none"> ・橋小学校コピー機・印刷機移設手数料 ○委託料 2,663千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野北小学校大体育館天井補修工事設計・監理業務 475千円 ・網野北小学校屋内消火栓配管改修工事監理業務 723千円 ・島津小学校下水道接続及び浄化槽解体撤去工事設計業務 486千円 ・島津小学校浄化槽清掃等業務 603千円 ・橋小学校校内LAN構築業務 52千円 ・橋小学校情報通信機器移設業務 324千円 ○工事請負費 64,087千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野北小学校大体育館天井補修工事 18,823千円 ・網野北小学校屋内消火栓配管改修工事 20,930千円 ・島津小学校下水道接続及び浄化槽解体撤去工事 6,402千円 ・豊栄小学校廊下等照明増設工事 742千円 ・間人小学校空調設備改修工事（保健室・図書室） 1,188千円 ・その他工事 42件 16,002千円 			
主な財源	府補市債	未来づくり交付金（学校再配置推進事業） 小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）	205千円 40,900千円	
評価・課題等	<p>○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、計画的に改修を実施していく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細事業名	01 小学校施設改修事業（繰越）			決算書 P.326
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
35,343千円	36,390千円	1,047千円	97.1%	36,390千円

目的	旧橋中学校校舎を新たに橋小学校校舎として利用するため、児童の教育環境を整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>中学校校舎を小学校として利用するため、トイレ・手洗い場の改修、ランチルームへの改装などの施設整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 3,402千円 <ul style="list-style-type: none"> ・橋中学校改修等工事監理業務 ○工事請負費 31,941千円 <ul style="list-style-type: none"> ・橋中学校改修等工事（建築主体工事） 18,656千円 ・橋中学校改修等工事（機械設備工事） 13,285千円 			
主な財源	市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）	33,600千円	
評価・課題等	<p>施設整備を行うことにより、安心・安全で快適な教育環境を整えることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細事業名	02 小学校施設耐震化事業			決算書 P.324
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
114,597千円	114,685千円	88千円	99.9%	131,800千円
目的	耐震性能が不足している小学校施設について、計画的な耐震補強工事を行い、大規模地震発生時における児童の安全を確保する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、平成26年度に引き続き、吉原（現：いさなご）小学校の耐震改修等工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 4,212 千円 吉原小学校校舎棟耐震補強等工事監理業務 ○工事請負費 110,385 千円 吉原小学校校舎棟耐震補強等工事 			
主な財源	国補	学校施設環境改善交付金 (1/2、1/3)	31,384千円	
	市債	小学校耐震改修事業債 (全国防災事業債)	41,300千円	
	市債	小学校耐震改修事業債 (緊急防災・減災事業債)	41,700千円	
評価・課題等	○吉原小学校（現：いさなご小学校）を最後に学校施設耐震化計画による小中学校の耐震化がすべて終了し、安心・安全で快適な教育環境を整えることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	04児童教職員健康管理事業
細事業名	01 児童教職員健康管理事業			決算書 P.326
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,291千円	9,502千円	211千円	97.7%	10,900千円
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、施設や設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持と小学校の教育活動における安全な環境を整える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（歯みがき指導教室講師謝金・大宮南小） 28千円 ○需用費（保健衛生消耗品、医薬材料ほか） 1,316千円 ○委託料 7,178千円 <ul style="list-style-type: none"> ・児童各種検診・検査 6,063千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 959人（1・4年、経過検診者） 2次 134人 眼科検診委託料 2,831人 耳鼻科検診委託料 2,834人 尿検査委託料（春） 1次 2,837人 2次 43人 尿検査委託料（秋） 1次 2,834人 2次 54人 蟻虫検査委託料 2,837人 血液検査委託料 487人（4年、経過観察者） 脊柱側彎症検診委託料 7人（校医抽出者） 結核検診委託料 1人（精密検査該当者） ・教職員健康診断委託料 930千円 ・教職員結核検診委託料 185千円 ○使用料及び賃借料 769千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料（検診時医師送迎） 121千円 ・機械借上料（AEDリース） 648千円 全校設置済（小学校20校） 			
主な財源				
評価・課題等	AEDの全小学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、児童及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業	
細事業名	01 小学校スクールバス運行管理事業			決算書	P.326
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
86,274千円		86,280千円		6千円	99.9% 95,307千円

目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。																																	
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行した。																																	
	○バス運転委託料	6,869千円																																
	※バスの運転のみを業者委託 高龍小(佐濃南線) 1台																																	
	○スクールバス運行管理委託料	78,564千円																																
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託																																	
	<table border="1"> <tr> <td>丹波小</td> <td>1台</td> <td>橘小</td> <td>1台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>1台</td> <td>間人小</td> <td>2台</td> <td>高龍小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td>かぶと山小</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">計</td> <td>25台</td> </tr> </table>	丹波小	1台	橘小	1台	弥栄小	3台	大宮南小	3台	島津小	1台	久美浜小	1台	網野北小	1台	間人小	2台	高龍小	3台	網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	5台	計					25台			
丹波小	1台	橘小	1台	弥栄小	3台																													
大宮南小	3台	島津小	1台	久美浜小	1台																													
網野北小	1台	間人小	2台	高龍小	3台																													
網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	5台																													
計					25台																													
○車両維持管理経費	649千円																																	
・需用費(消耗品費、燃料費、修繕料)	616千円																																	
・役務費(自動車損害保険料)	33千円																																	
○バス停維持管理経費	8千円																																	
・火災保険料、土地借上料(15.66㎡)																																		
○安全対策経費	184千円																																	
・工事請負費(カーブミラー設置工事)																																		
設置場所: 網野町高橋 地内 設置数: 1基																																		
主な財源	諸収入	市営バス運行収入	624千円																															
	諸収入	市営バス回数券販売収入	38千円																															
評価・課題等	スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。																																	
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																	

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業	
細事業名	02 小学校スクールバス購入事業			決算書	P.326
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
18,092千円		18,199千円		107千円	99.4% 18,436千円

目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを購入した。				
	○備品購入費(スクールバス4台)	17,763千円			
	・いさなご小学校(29人乗り2台、14人乗り1台)				
	・宇川小学校(14人乗り1台)				
○購入に係る諸経費	329千円				
・手数料、保険料、自動車重量税					
主な財源	市債	小学校スクールバス整備事業債(合併特例債)	13,900千円		
	市債	小学校スクールバス整備事業債(過疎対策債)	3,000千円		
評価・課題等	○小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○スクールバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業												
細事業名	03 小学校通学支援事業			決算書	P.326											
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
349千円	350千円	1千円	99.7%	343千円												
目的	自転車通学や遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じてヘルメットの購入支援とともに遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	○通学用ヘルメット購入補助金		1千円													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋</td> <td>1人</td> <td>1千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1人</td> <td>1千円</td> </tr> </tbody> </table>					小学校名	対象児童数	補助金額	橋	1人	1千円	計	1人	1千円		
	小学校名	対象児童数	補助金額													
	橋	1人	1千円													
計	1人	1千円														
○遠距離通学補助金		348千円														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮南</td> <td>13人</td> <td>180千円</td> </tr> <tr> <td>宇川</td> <td>12人</td> <td>168千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25人</td> <td>348千円</td> </tr> </tbody> </table>					小学校名	対象児童数	補助金額	大宮南	13人	180千円	宇川	12人	168千円	計	25人	348千円
小学校名	対象児童数	補助金額														
大宮南	13人	180千円														
宇川	12人	168千円														
計	25人	348千円														
主な財源																
評価・課題等	自転車通学や遠距離通学をする児童を対象としたヘルメットの購入支援や遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。															
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課															

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	06小学校施設管理事業	
細事業名	01 小学校施設管理事業			決算書	P.326
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
29,350千円	29,437千円	87千円	99.7%	29,609千円	
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市内20小学校について、学校運営上必要な各種検査、保守管理業務委託、施設設備修繕等を行った。				
	○施設等修繕		12,617 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、体育館等の不良個所の修繕、消防設備の修繕等 				
	○各種検査等手数料		464 千円		
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、貯水槽等保守点検 					
○建物火災保険料		871 千円			
○施設保守管理等委託料 (13業務)		14,029 千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、学校警備、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、プール給排水施設管理、給食施設消毒等業務、プール循環点検、草刈、雑木伐採、漏水調査、グリストラップ処理 					
○学校用地借上料		150 千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・吉原 (現:いさなご) 小学校 (学童農園用地他 751.22㎡) 					
○施設修繕のための原材料		287 千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・山土、砂、木材等の購入 					
○消防設備の備品購入費		184 千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・屋内消火栓用ホース、消火器 					
○網野北小学校芝生化事業		748 千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生用肥料、草刈機用燃料、芝刈機等修繕、芝生目土作業委託料 補植用芝生及び芝生用土購入 					
主な財源					
評価・課題等	○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行っていく必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業	
細 事 業 名	01 小学校教育振興事業			決算書	P.328
総 合 計 画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
31,056千円		31,765千円		709千円	97.7 % 35,529千円
目 的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,431千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品(448人) 322千円 ・卒業記念品(526人) 1,109千円 ○旅費 1千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償(大地の学習講師費用弁償) ○需用費 20,423千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 20,219千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、学力検査、教科書改訂による教師用教科書及び指導書ほか ・燃料費(大地の学習移動用燃料費) 1千円 ・印刷製本費 203千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」490部(3年生) ○委託料 5,938千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料 ○使用料及び賃借料 3,248千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 15千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加負担金(山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会) <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年10月24日(土) 場 所：兵庫県立但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校：吉原小、長岡小、網野南小、橘小 				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局/学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業	
細 事 業 名	01 小学校教育振興備品整備事業			決算書	P.330
総 合 計 画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
11,680千円		12,154千円		474千円	96.1 % 12,225千円
目 的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、2校の図書室蔵書管理システムを導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 425千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(図書用バーコードラベル等) 92千円 ・修繕料(教材備品の修繕) 333千円 ○役務費 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システム設定手数料 吉原小・五箇小 ○使用料及び賃借料 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料 図書システム導入 吉原小・五箇小(旧橘中学校のソフトウェアを利用) ○備品購入費 10,955千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 5,834千円 ・学校図書整備 4,259千円 ・理科教育等設備整備(理科・算数備品) 862千円 				
主 な 財 源	国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)			428千円
評 価 ・ 課 題 等	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(算数)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○学習指導要領に沿った授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の充実が必要である。</p>				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業
細事業名	01 小学校就学援助事業			決算書 P.330
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
19,809千円	20,098千円	289千円	98.5%	22,573千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○就学援助費 18,425千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護認定者 33人 (H26 34人) 336千円 <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 172千円 医療費 164千円 準要保護認定者 268人 (H26 252人) 18,010千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 5,001千円 給食費 11,154千円 修学旅行費 1,592千円 医療費 263千円 準要保護認定者(被災児童) 1人 (H26 0人) 79千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 34千円 給食費 45千円 <p>※ 申請者数 327人 (H26 305人) 認定者数 302人 (H26 286人)</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 1,384千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 46人 (H26 42人) 1,384千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 324千円 給食費 959千円 修学旅行費 101千円 			
主な財源	国補	就学援助費補助金 (1/2)	168千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2)	683千円	
	府補	被災児童生徒就学等支援事業費補助金 (10/10)	78千円	
評価・課題等	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象となる児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業																																																						
細事業名	01 小学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.330																																																						
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実																																																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																						
48,700千円	48,994千円	294千円	99.3%	57,010千円																																																						
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○介護職員兼学校図書館支援加配 14人 (1日7時間45分・週5日勤務)</p> <p>○介護職員 16人 (1日7時間・週5日勤務)</p> <p>○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 1人 (1日7時間・週5日勤務) 心の教室相談員：大宮第一小学校 学校図書館支援加配：高龍小学校</p> <p>○学校図書館支援加配 1人 (1日7時間・週4日勤務) 吉原、五箇、丹波、長岡小学校に週1日勤務</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨時職員賃金 40,056千円 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 7,134千円 事務費(校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金) 49千円 委託料(児童の看護・介護委託料) 1,461千円 <p>配置一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>相談員</th> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>相談員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山小</td> <td>2人</td> <td></td> <td>豊栄小</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>五箇小</td> <td>1人</td> <td></td> <td>間人小</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新山小</td> <td>3人</td> <td></td> <td>宇川小</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大宮第一小</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>吉野小</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>1人</td> <td></td> <td>弥栄小</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>1人</td> <td></td> <td>久美浜小</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>2人</td> <td></td> <td>かぶと山小</td> <td>3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橘小</td> <td>3人</td> <td></td> <td>計</td> <td>30人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	介護	相談員	学校名	介護	相談員	峰山小	2人		豊栄小	2人		五箇小	1人		間人小	1人		新山小	3人		宇川小	2人		大宮第一小	4人	1人	吉野小	1人		大宮南小	1人		弥栄小	2人		網野北小	1人		久美浜小	2人		網野南小	2人		かぶと山小	3人		橘小	3人		計	30人	1人
学校名	介護	相談員	学校名	介護	相談員																																																					
峰山小	2人		豊栄小	2人																																																						
五箇小	1人		間人小	1人																																																						
新山小	3人		宇川小	2人																																																						
大宮第一小	4人	1人	吉野小	1人																																																						
大宮南小	1人		弥栄小	2人																																																						
網野北小	1人		久美浜小	2人																																																						
網野南小	2人		かぶと山小	3人																																																						
橘小	3人		計	30人	1人																																																					
主な財源	府補	未来づくり交付金(小学校スクールサポーター等設置事業)	21,000千円																																																							
評価・課題等	<p>○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。</p> <p>○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>																																																									
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																																									

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業	
細 事 業 名	02 小学校教育推進活動実践事業			決算書	P.330
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
3,113千円	3,682千円	569千円	84.5%	3,682千円	
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○教育実践研究指定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ1年生体験入学推進事業 80千円 府指定：弥栄小 <p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 1,450千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 652千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 798千円 <p>○特色ある学校づくりの支援 621千円</p> <p>実施校：新山小（農業体験）、大宮南小（開かれた学校づくり）、網野北小（郷土学習）、網野南小（理科教育）、島津小（郷土学習）、豊栄小（環境教育）、高龍小（古典芸能）</p> <p>○サイエンス・パートナーシップ校（島津小学校） 85千円</p> <p>児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。 実施日：平成27年8月28日（金） 受講児童：5年生12人、6年生20人</p> <p>○国際交流事業（島津小学校） 66千円</p> <p>平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、マンチェスター・メモリアル小学校との交流（児童が制作した作品の交換）を実施。</p> <p>○予防教育（実践校：大宮南小学校） 129千円</p> <p>いじめや不登校を起こさせない教育を推進するため、子どもの特性を踏まえ科学的根拠をもった予防教育プログラム（鳴門教育大学開発）を実践。</p> <p>○教育研究事業負担金 250千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 432千円</p>				
主な財源	<p>府補 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） 434千円</p> <p>府補 もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（1/2） 40千円</p> <p>府補 自殺対策事業補助金（10/10） 129千円</p>				
評価・課題等	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上や規範意識、コミュニケーション能力などを身に付けさせることができた。</p> <p>○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業	
細 事 業 名	01 中学校管理運営事業			決算書	P.332
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
63,071千円	64,420千円	1,349千円	97.9%	71,488千円	
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>○需用費 49,627千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 14,895千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、ちりめん卒業証書ほか） 1,025千円 ・電気代 24,462千円 ・水道料 9,103千円 ・修繕費（印刷機等の修繕） 142千円 <p>○役務費 2,394千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 1,844千円 ・手数料（ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか） 550千円 <p>○委託料 5,816千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分委託料 216千円 ・作業員業務人材派遣委託料（3校、4人） 5,600千円 <p>○使用料及び賃借料 828千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 91千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 737千円 <p>○備品購入費 3,351千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒用机・イス、テント、保健器具、草刈り機ほか <p>○負担金、補助及び交付金 1,055千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○教育環境の整備や維持管理など、安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業
細事業名	02 中学校事務補助経費			決算書 P.332
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,075千円	5,137千円	62千円	98.7%	5,137千円
目的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>複数配置校</p> <p>大宮中学校 事務補助(1人) (1日6時間・週5日勤務)</p> <p>峰山中学校 事務補助(1人) (1日7時間・週5日勤務)</p> <p>再配置校</p> <p>久美浜中学校 事務補助(1人) (1日7時間・週5日勤務)</p> <p>○臨時職員賃金 4,419千円</p> <p>○共済費(社会保険料、労災保険料) 656千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業
細事業名	01 中学校施設改修事業			決算書 P.334
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
35,106千円	35,124千円	18千円	99.9%	33,850千円
目的	老朽化している学校施設が多い中、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、市内中学校施設の改修工事等を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>大宮中学校体育館屋上防水工事、丹後中学校受水槽補修工事等を実施した。</p> <p>○委託料 432千円</p> <p>・大宮中学校体育館屋上防水工事設計・監理業務</p> <p>○工事請負費 34,674千円</p> <p>・大宮中学校体育館屋上防水工事 26,784千円</p> <p>・丹後中学校受水槽補修工事 1,188千円</p> <p>・久美浜中学校放送設備機器交換工事 1,270千円</p> <p>・弥栄中学校給食室給湯配管替工事 1,133千円</p> <p>・峰山中学校特別支援教室空調設備工事 1,026千円</p> <p>・その他工事 7件 3,273千円</p>			
主な財源	市債	中学校施設整備事業債(緊急防災・減災事業債)	27,200千円	
評価・課題等	<p>○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>○学校施設の老朽化が進む中、計画的に改修を実施していく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	04生徒教職員健康管理事業	
細事業名	01 生徒教職員健康管理事業			決算書	P.334
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
5,424千円	5,611千円	187千円	96.6%	6,723千円	
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、施設や設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持と中学校の教育活動における安全な環境を整える。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費（保健衛生消耗品・医薬材料ほか） 776千円 ○委託料 4,371千円 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒各種検診・検査 3,772千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 573人（1年、経過検診者） 2次 78人 眼科検診委託料 1,696人 耳鼻科検診委託料 1,695人 尿検査委託料（春） 1次 1,713人 2次 87人 尿検査委託料（秋） 1次 1,709人 2次 65人 血液検査委託料 569人（2年、経過観察者） 脊柱側彎症検診委託料 5人（校医抽出者） ・教職員健康診断委託料 493千円 ・教職員結核検診委託料 106千円 ○使用料及び賃借料 277千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料（検診時医師送迎） 23千円 ・機械借上料（AEDリース） 254千円 全校設置済（中学校6校） 				
主な財源					
評価・課題等	AEDの全中学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、生徒及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業													
細事業名	01 中学校スクールバス運行管理事業			決算書	P.334												
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額													
71,704千円	71,714千円	10千円	99.9%	87,328千円													
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。																
主要な事務・事業及び成果の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。 <ul style="list-style-type: none"> ○スクールバス運行管理委託料 71,637千円 <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr><td>峰山中</td><td>1台</td></tr> <tr><td>網野中</td><td>3台</td></tr> <tr><td>丹後中</td><td>2台</td></tr> <tr><td>弥栄中</td><td>1台</td></tr> <tr><td>久美浜中</td><td>11台</td></tr> <tr><td>計</td><td>18台</td></tr> </table> ○車両維持管理経費 12千円 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費） ○バス停・車庫維持管理経費 55千円 <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料、燃料費 					峰山中	1台	網野中	3台	丹後中	2台	弥栄中	1台	久美浜中	11台	計	18台
峰山中	1台																
網野中	3台																
丹後中	2台																
弥栄中	1台																
久美浜中	11台																
計	18台																
主な財源	諸収入	市営バス運行収入			1,024千円												
	諸収入	市営バス回数券販売収入			323千円												
評価・課題等	スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。																
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業
細事業名	02 中学校スクールバス購入事業			決算書 P.334
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,092千円	3,127千円	35千円	98.8%	3,286千円
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを購入した。			
	○備品購入費(スクールバス1台) ・久美浜中学校 (14人乗り)	3,040千円		
	○購入に係る諸経費 ・手数料、保険料、自動車重量税	52千円		
主な財源	市債 中学校スクールバス整備事業債(過疎対策債)			3,000千円
評価・課題等	○中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○スクールバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業																							
細事業名	03 中学校通学支援事業			決算書 P.334																							
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																							
496千円	562千円	66千円	88.2%	562千円																							
目的	自転車通学や遠距離通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメットの購入支援とともに遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																										
主要な事務・事業及び成果の概要	○通学用ヘルメット購入補助金			341千円																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>134人</td> <td>168千円</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>58人</td> <td>72千円</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>24人</td> <td>34千円</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>18人</td> <td>16千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>35人</td> <td>44千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>7人</td> <td>7千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>276人</td> <td>341千円</td> </tr> </tbody> </table>				中学校名	対象生徒数	補助金額	峰山	134人	168千円	大宮	58人	72千円	網野	24人	34千円	丹後	18人	16千円	弥栄	35人	44千円	久美浜	7人	7千円	計	276人
中学校名	対象生徒数	補助金額																									
峰山	134人	168千円																									
大宮	58人	72千円																									
網野	24人	34千円																									
丹後	18人	16千円																									
弥栄	35人	44千円																									
久美浜	7人	7千円																									
計	276人	341千円																									
	○遠距離通学補助金			155千円																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮</td> <td>9人</td> <td>155千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9人</td> <td>155千円</td> </tr> </tbody> </table>				中学校名	対象生徒数	補助金額	大宮	9人	155千円	計	9人	155千円														
中学校名	対象生徒数	補助金額																									
大宮	9人	155千円																									
計	9人	155千円																									
主な財源																											
評価・課題等	自転車通学や遠距離通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援や遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。																										
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課																										

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	06中学校施設管理事業
細事業名	01 中学校施設管理事業			決算書 P.336
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,431千円	10,648千円	217千円	97.9%	10,340千円
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内6中学校において、学校運営上必要な各種検査、保守管理委託、施設及び設備等の修繕を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕 4,521 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教室、体育館、給食調理室等の不良個所の修繕、放送機器等の修理 ○各種検査等手数料 165 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、貯水槽等保守点検 ○建物火災保険料 442 千円 ○施設保守管理等委託料 3,649 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理 給食用リフト保守点検、学校警備、給食施設消毒等、雑木伐採、グリストラップ処理 ○学校用地借上料 1,460 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄中学校用地（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡） ○施設修繕のための原材料費 157 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・真砂土、砂、木材等の購入 ○消防設備の備品購入費 37 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校屋内消火栓用ホース交換（6本） 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。</p> <p>○老朽化施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行っていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業
細事業名	01 中学校教育振興事業			決算書 P.336
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
49,675千円	50,596千円	921千円	98.1%	52,078千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組み、「生きる力」の醸成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,350千円 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育講師謝金（峰山学園夏季研修） 60千円 ・入学記念品（548人） 300千円 ・卒業記念品（628人） 990千円 ○需用費 23,950千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 23,475千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、学力検査、指導書、道徳副読本、学園表示板（大宮中） 小中一貫教育関係消耗品ほか ・印刷製本費 475千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「京丹後市の歴史」560部 ※中学1年生に配付 小中一貫教育啓発リーフレット（峰山中・網野中） ○役務費 76千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞折込手数料、楽器運搬手数料 ○委託料 18,311千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料 ○使用料及び賃借料 1,635千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料 1,067千円 ・会場借上料 78千円 ・有料道路通行料 434千円 ・駐車場使用料 56千円 ○負担金、補助及び交付金 4,353千円 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等選手派遣費補助金 			
主な財源				
評価・課題等	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業			決算書 P.336
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,610千円	11,075千円	465千円	95.8%	11,174千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行った。また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 455千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料(教材備品の修繕) 455千円 ○役務費 310千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器調整手数料 308千円 ・被服補修手数料 2千円 ○使用料及び賃借料 32千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料(全中学校) 32千円 ○備品購入費 9,813千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 1,905千円 ・学校図書整備 5,787千円 ・理科教育等設備整備(理科・数学備品) 2,121千円 			
主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)	1,052千円	
評価・課題等	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○学習指導要領に沿った授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の充実が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業
細事業名	01 中学校就学援助事業			決算書 P.338
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
25,398千円	25,590千円	192千円	99.2%	28,231千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○就学援助費 23,862千円 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 21人(H26 23人) 651千円 <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 585千円 医療費 66千円 ・準要保護認定者 201人(H26 221人) 23,132千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 9,626千円 給食費 9,406千円 修学旅行費 3,995千円 医療費 105千円 ・準要保護認定者(被災生徒) 1人(H26 1人) 79千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 27千円 給食費 52千円 ※申請者数 236人(H26 250人) 認定者数 223人(H26 245人) ○特別支援教育就学奨励費 1,536千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 35人(H26 32人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 549千円 給食費 808千円 修学旅行費 179千円 			
主な財源	国補	就学援助費補助金(1/2)	325千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	749千円	
	府補	被災児童生徒就学等支援事業費補助金(10/10)	78千円	
評価・課題等	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象となる生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業		
細事業名	01 中学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.338		
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
40,592千円	40,940千円	348千円	99.1%	48,140千円		
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○介護職員 5人 (1日7時間・週5日勤務) ○講師 (小中一貫・再配置) 10人 (1日7時間45分・週5日勤務) ○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 6人 (1日7時間45分・週5日勤務)					
	・臨時職員賃金 34,497千円 ・共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 6,095千円					
	配置一覧					
	学校名	介護	再配置 講師	小中一貫 講師 コーディネーター	相談員	参考計
	峰山中	1人		1人	1人	4人
	大宮中	1人		1人	1人	4人
	網野中	1人	1人	1人	1人	5人
	丹後中			1人		2人
	弥栄中	1人		1人		3人
	久美浜中	1人		1人		3人
	計	5人	1人	6人	6人	21人
主な財源	府補	未来づくり交付金 (中学校スクールサポーター等設置事業)		17,300千円		
評価・課題等	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業
細事業名	02 中学校教育推進活動実践事業			決算書 P.338
総合計画	計画項目 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,861千円	2,178千円	317千円	85.4%	1,978千円
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○教育実践研究指定事業 200千円			
	・法やルールに関する教育研究指定事業 200千円 府指定：久美浜中学校			
	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 677千円			
	・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業 378千円 府指定：全校			
	・総合的な学習活動推進事業 299千円 市指定：全校			
	○和装教育推進事業 113千円			
	・着付け体験学習 (峰山中、大宮中、網野中、丹後中)			
	○特色ある学校づくりの支援 614千円			
	実施校：峰山中 (小中一貫)、大宮中 (人権教育)、丹後中 (性教育) 弥栄中 (郷土学習)、久美浜中 (人権教育)			
	○教育研究事業負担金 112千円			
	○修学旅行引率補助金 145千円			
主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金 (2/3)		252千円
	府委	法やルールに関する教育研究指定事業費委託金 (10/10)		200千円
評価・課題等	○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			